



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック
 コード番号 5915 URL <https://www.komaihaltec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 進
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 中村 貴任
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3833-5101

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,905	16.8	300		96		118	
2019年3月期第3四半期	32,336	24.0	1,317	32.1	1,438	31.3	1,222	16.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 185百万円 (73.6%) 2019年3月期第3四半期 705百万円 (62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	25.12	
2019年3月期第3四半期	259.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	50,586	27,559	54.5	5,821.77
2019年3月期	54,046	27,681	51.2	5,863.84

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,559百万円 2019年3月期 27,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		35.00		35.00	70.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	18.2	400	80.1	700	67.4	530		112.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年2月12日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,972,709 株	2019年3月期	4,972,709 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	238,916 株	2019年3月期	251,959 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,728,635 株	2019年3月期3Q	4,717,227 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. その他	8
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中対立に端を発する世界経済の減速を受けて製造業を中心に企業業績が低迷し、弱さが一段と増しており、足元では消費増税後の10月以降駆け込み需要の反動と相次ぐ自然災害により消費は急速に落ち込んでおります。今後は米中対立の緩和や新技術の活用などを材料に、世界の景気が底を打つことで輸出や生産が持ち直し、企業業績も改善することが期待されますが、全体の不透明感は拭えない状況が続くものと思われま

す。橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁は大型新設橋梁の発注量が大幅に減少したことなどにより、発注量は前年同四半期を大きく下回り、さらに熾烈な受注競争が続いております。また、鉄骨の発注量は首都圏を中心に多数の再開発計画があるものの、東京オリンピック・パラリンピック関連の投資が一段落したことなどにより、昨年後半から発注の端境期となっており発注量は前年同四半期を下回っております。また、人手不足や材料納期などの影響による発注時期の遅延、変更などが引続き懸念されます。

このような厳しい環境のなか、鋭意受注活動に注力しましたが、当第3四半期連結累計期間の受注高は総額182億8千7百万円（前年同四半期比7.0%減）にとどまりました。売上高は発注量の減少などにより総額269億5百万円（同16.8%減）となりました。

損益につきましては一部大型橋梁工事の竣工による追加変更獲得があったものの、新規発注工事の減少に伴う売上高の減少及び一部大型鉄骨工事において材料費・輸送費等の費用が増加したことに加え、販売費及び一般管理費において調査研究費が増加したことなどにより、遺憾ながら営業損失3億円（前年同四半期は13億1千7百万円の利益）、経常損失9千6百万円（同14億3千8百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億1千8百万円（同12億2千2百万円の利益）となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

— 橋梁事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、兵庫県・（主）加古川小野線東播磨道北工区下村第2高架橋上部工事、石川県・主要地方道金沢美川小松線地方道改築4類工事（手取川橋梁 A1-P3上部工）他の工事で76億8千5百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

売上高は、国土交通省九州地方整備局・福岡208号大川高架橋上部工（A1-P4）工事他の工事で110億8千6百万円（同4.8%増）となり、これにより受注残高は149億9千万円（同15.7%減）となっております。

— 鉄骨事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、（仮称）虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業施設建築物A街区、（仮称）北品川五丁目計画他の工事で101億7千3百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

売上高は、KDDI株式会社多摩データセンタービル新築工事、（仮称）大手町1-4-2計画他の工事で152億9千5百万円（同26.4%減）となり、これにより受注残高は126億9千6百万円（同31.4%減）となっております。

— 不動産事業 —

当社グループは、大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による不動産事業を行っており、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3億4百万円（前年同四半期比1.6%減）となっております。

— その他 —

当社グループは、その他の事業として風力発電等による環境事業、インフラを中心とした海外事業及び印刷事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は2億1千9百万円（前年同四半期比66.4%減）、受注残高は5億3百万円（同28.4%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より34億5千9百万円減少し、505億8千6百万円となりました。

資産の部では、前連結会計年度末より現金預金が25億8百万円減少したことなどにより、流動資産が37億6千8百万円減少し、317億7千4百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末より3億8百万円増加し、188億1千2百万円となりました。

負債の部では、前連結会計年度末より短期借入金が9億3千5百万円増加したものの、支払手形・工事未払金が32億3百万円減少したことなどにより、流動負債が28億1百万円減少し、137億5千4百万円となりました。固定負債は92億7千2百万円となり、負債合計は前連結会計年度末より33億3千7百万円減少し、230億2千7百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末よりその他有価証券評価差額金が2億5千4百万円増加したものの、利益剰余金が4億4千9百万円減少したことなどにより、純資産は1億2千2百万円減少し、275億5千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表した業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、本日(2020年2月12日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,866	9,358
受取手形・完成工事未収入金	18,518	18,359
電子記録債権	3,738	2,318
未成工事支出金	154	429
材料貯蔵品	549	649
その他	719	660
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	35,543	31,774
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,953	3,876
機械・運搬具（純額）	905	823
土地	7,857	7,857
その他（純額）	313	589
有形固定資産合計	13,029	13,146
無形固定資産	120	111
投資その他の資産		
投資有価証券	5,066	5,267
その他	379	379
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	5,353	5,554
固定資産合計	18,503	18,812
資産合計	54,046	50,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	9,811	6,607
短期借入金	1,615	2,550
1年内償還予定の社債	2,360	2,260
未成工事受入金	923	524
工事損失引当金	456	364
引当金	400	176
その他	989	1,271
流動負債合計	16,556	13,754
固定負債		
社債	4,090	4,060
長期借入金	2,153	1,318
繰延税金負債	802	892
退職給付に係る負債	2,528	2,543
その他	233	459
固定負債合計	9,808	9,272
負債合計	26,364	23,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	8,232	8,222
利益剰余金	11,867	11,417
自己株式	△610	△578
株主資本合計	26,109	25,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,731	1,985
退職給付に係る調整累計額	△158	△108
その他の包括利益累計額合計	1,572	1,877
純資産合計	27,681	27,559
負債純資産合計	54,046	50,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
完成工事高	32,336	26,905
完成工事原価	29,036	24,988
完成工事総利益	3,299	1,916
販売費及び一般管理費	1,982	2,217
営業利益又は営業損失(△)	1,317	△300
営業外収益		
受取配当金	143	159
受取保険金	2	124
受取家賃	34	36
材料屑売却益	37	31
雑収入	46	12
営業外収益合計	264	365
営業外費用		
支払利息	61	42
社債発行費	19	32
支払手数料	59	10
特別調査関連費用	-	44
雑支出	3	30
営業外費用合計	143	160
経常利益又は経常損失(△)	1,438	△96
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	1	5
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	-	14
特別損失合計	0	15
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,439	△103
法人税、住民税及び事業税	203	32
法人税等調整額	12	△17
法人税等合計	216	14
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,222	△118
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,222	△118

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,222	△118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△638	254
繰延ヘッジ損益	9	-
退職給付に係る調整額	111	50
その他の包括利益合計	△517	304
四半期包括利益	705	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	705	185
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれる場合は、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目	前第3四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受注高						
橋梁事業	9,406	47.8	7,685	42.0	13,871	45.3
鉄骨事業	10,243	52.1	10,173	55.6	16,631	54.4
その他	16	0.1	428	2.4	94	0.3
合 計	19,666	100.0	18,287	100.0	30,597	100.0

項 目	前第3四半期 連結累計期間 (2018年12月31日現在)		当第3四半期 連結累計期間 (2019年12月31日現在)		前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受注残高						
橋梁事業	17,781	48.1	14,990	53.2	18,390	50.5
鉄骨事業	18,506	50.0	12,696	45.0	17,819	49.0
その他	702	1.9	503	1.8	183	0.5
合 計	36,990	100.0	28,190	100.0	36,393	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目	前第3四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋梁事業	10,582	32.7	11,086	41.2	14,437	32.8
鉄骨事業	20,791	64.3	15,295	56.9	27,866	63.4
不動産事業	309	1.0	304	1.1	412	0.9
その他	652	2.0	219	0.8	1,284	2.9
合 計	32,336	100.0	26,905	100.0	44,002	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。